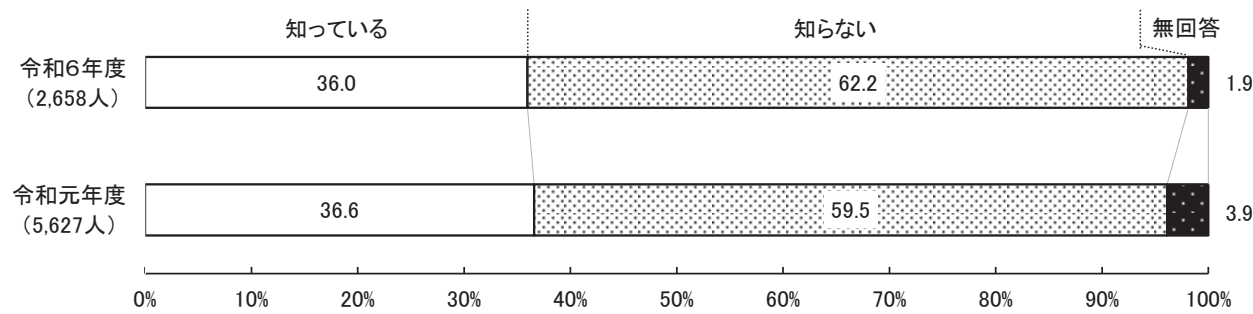


第6章 肝炎ウイルス検査の状況

1 肝炎ウイルス検査の認知度

20歳以上の世帯員（2,658人）に、区市町村や保健所で、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスへの感染の有無を調べる肝炎ウイルス検査が行われていることを知っているか聞いたところ、「知っている」割合が36.0%、「知らない」が62.2%となっている。（図Ⅱ-6-1）

図Ⅱ-6-1 肝炎ウイルス検査の認知度



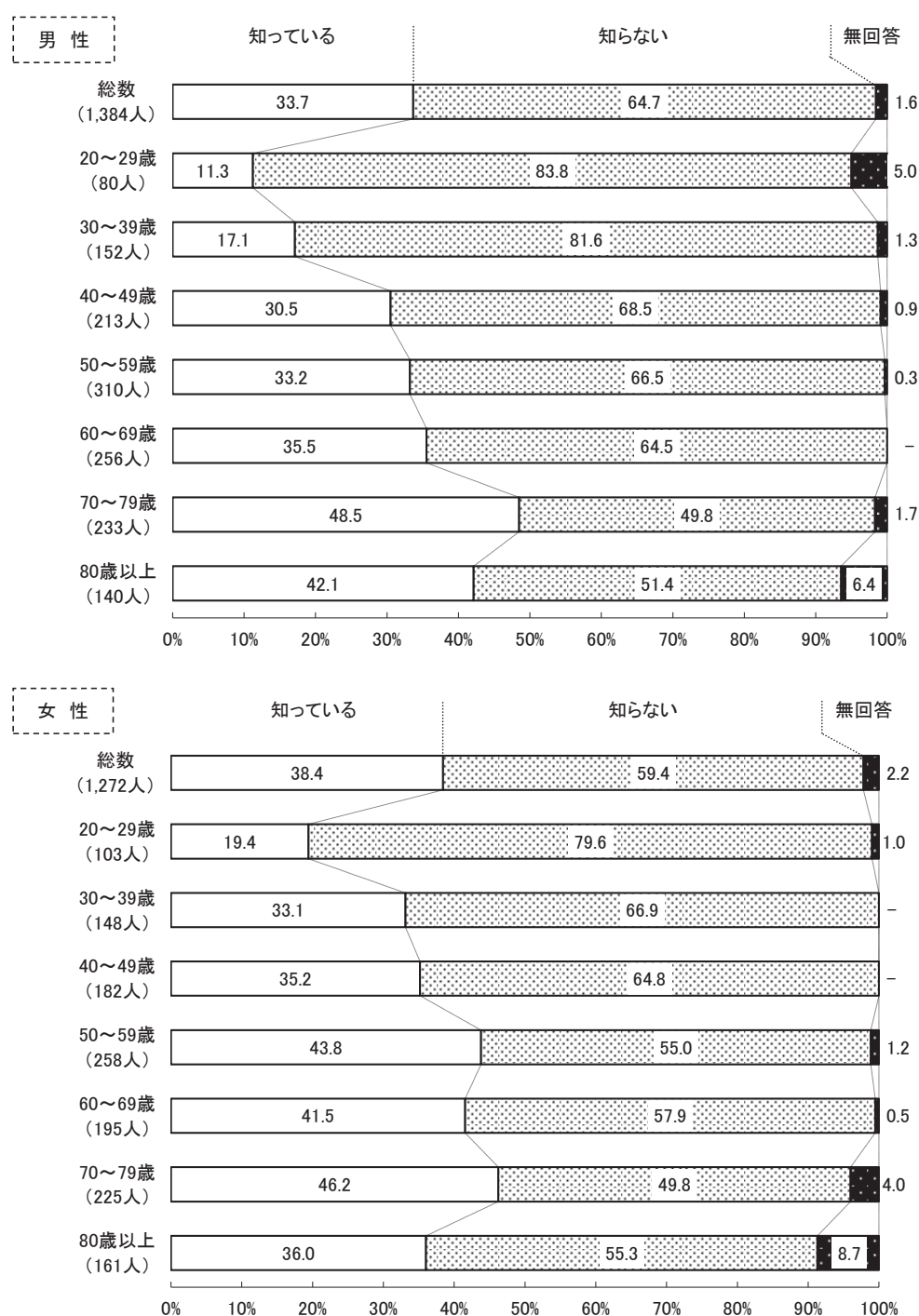
(1) 肝炎ウイルス検査の認知度－性・年齢階級別

肝炎ウイルス検査が行われていることを「知っている」人の割合は、男性3割超、女性約4割

肝炎ウイルス検査の認知度を性別でみると、「知っている」割合は、男性33.7%、女性38.4%となっている。

性・年齢階級別にみると、男女とも70代の「知っている」割合が最も高く、男性48.5%、女性46.2%となっている。(図Ⅱ-6-2)

図Ⅱ-6-2 肝炎ウイルス検査の認知度－性・年齢階級別

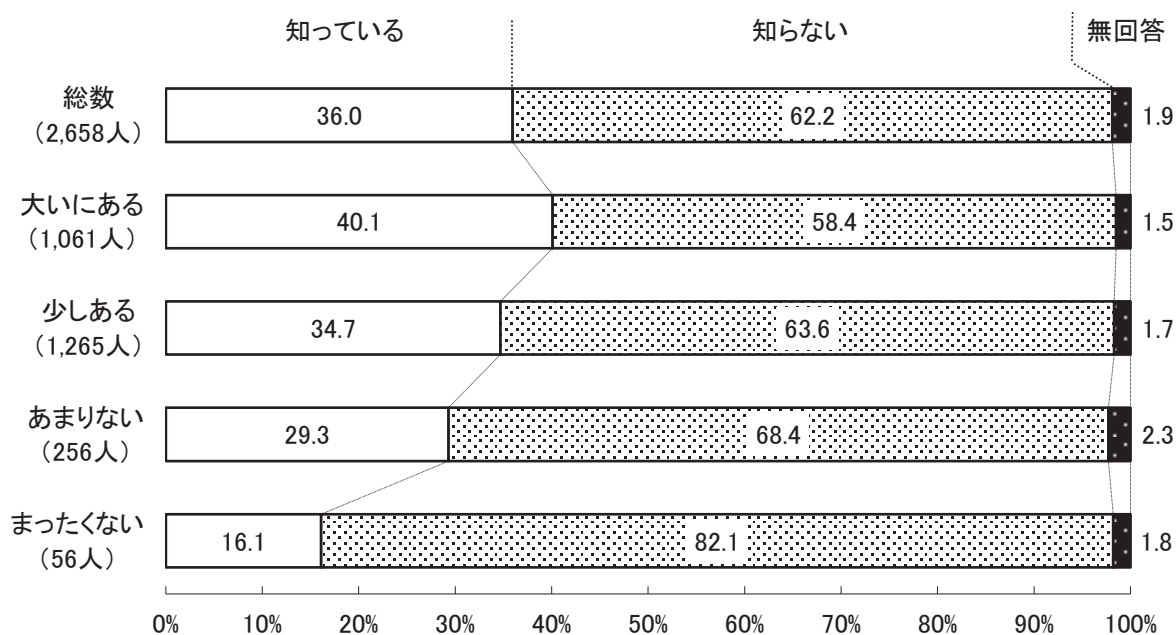


(2) 肝炎ウイルス検査の認知度－食生活・生活習慣の改善意欲別

肝炎ウイルス検査が行われていることを「知っている」人の割合は、食生活・生活習慣の改善意欲が大いにある人では約4割

肝炎ウイルス検査の認知度を食生活・生活習慣の改善意欲別にみると、肝炎ウイルス検査が行われていることを「知っている」割合は、食生活・生活習慣の改善意欲が大いにある人では40.1%となっている。(図Ⅱ-6-3)

図Ⅱ-6-3 肝炎ウイルス検査の認知度－食生活・生活習慣の改善意欲別

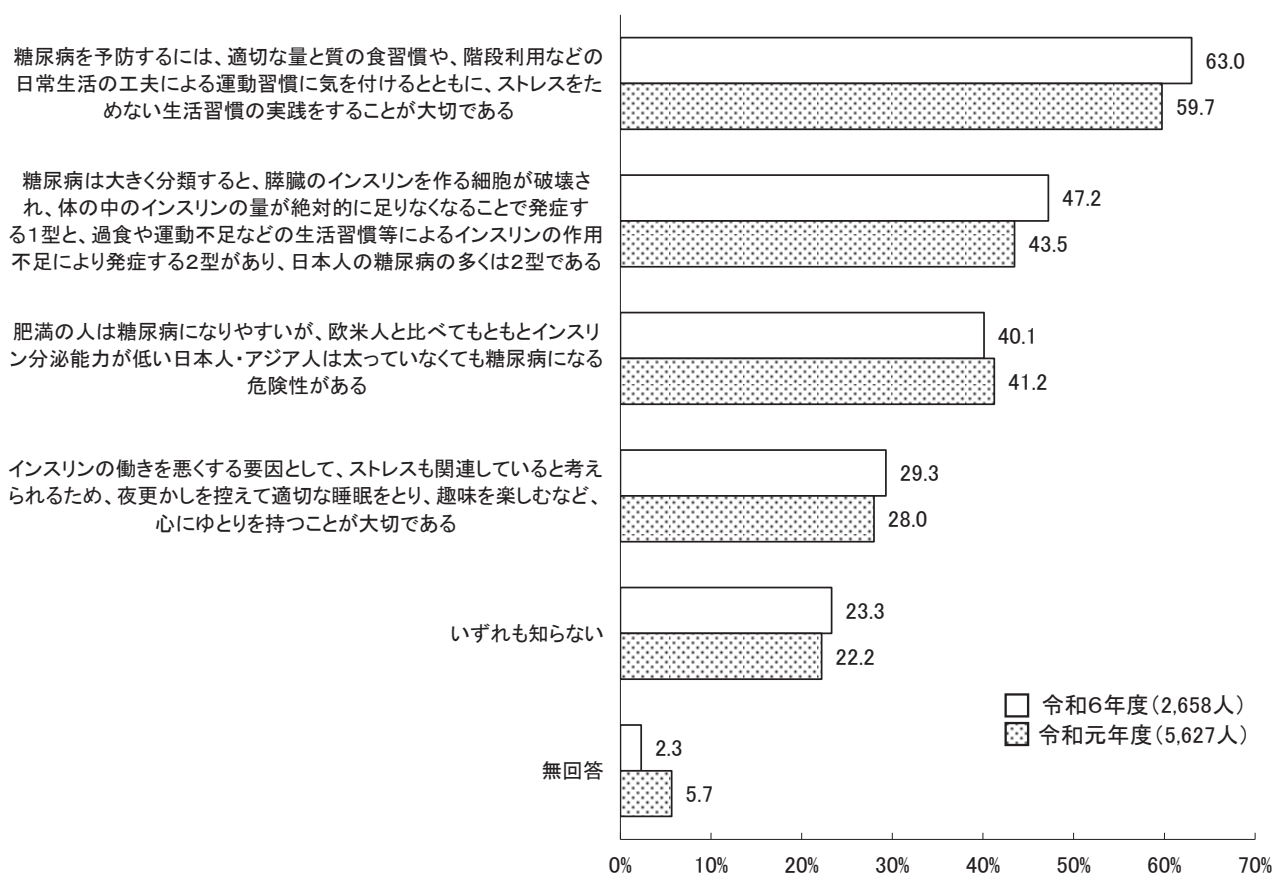


第7章 糖尿病

1 生活習慣の改善による発症予防について知っていること[複数回答]

20歳以上の世帯員（2,658人）に、生活習慣の改善による発症予防について、以下のようなことを知っているか聞いたところ、「糖尿病を予防するには、適切な量と質の食習慣や、階段利用などの日常生活の工夫による運動習慣に気を付けるとともに、ストレスをためない生活習慣の実践をすることが大切である」と回答した割合が63.0%と最も高くなっている。（図Ⅱ-7-1）

図Ⅱ-7-1 生活習慣の改善による発症予防について知っていること[複数回答]



(1) 生活習慣の改善による発症予防について知っていること〔複数回答〕—性・年齢階級別

男女とも「糖尿病を予防するには、適切な量と質の食習慣や、階段利用などの日常生活の工夫による運動習慣に気を付けるとともに、ストレスをためない生活習慣の実践をすることが大切である」ことを知っている割合が最も高い

生活習慣の改善による発症予防について知っていることを性・年齢階級別にみると、男女とも「糖尿病を予防するには、適切な量と質の食習慣や、階段利用などの日常生活の工夫による運動習慣に気を付けるとともに、ストレスをためない生活習慣の実践をすることが大切である」と回答した割合が最も高くなっている（男性 60.7%、女性 65.6%）。

一方で、「いずれも知らない」の割合は、20代では、男性 40.0%、女性 30.1%となっている（表Ⅱ-7-1）

表Ⅱ-7-1 生活習慣の改善による発症予防について知っていること〔複数回答〕

—性・年齢階級別

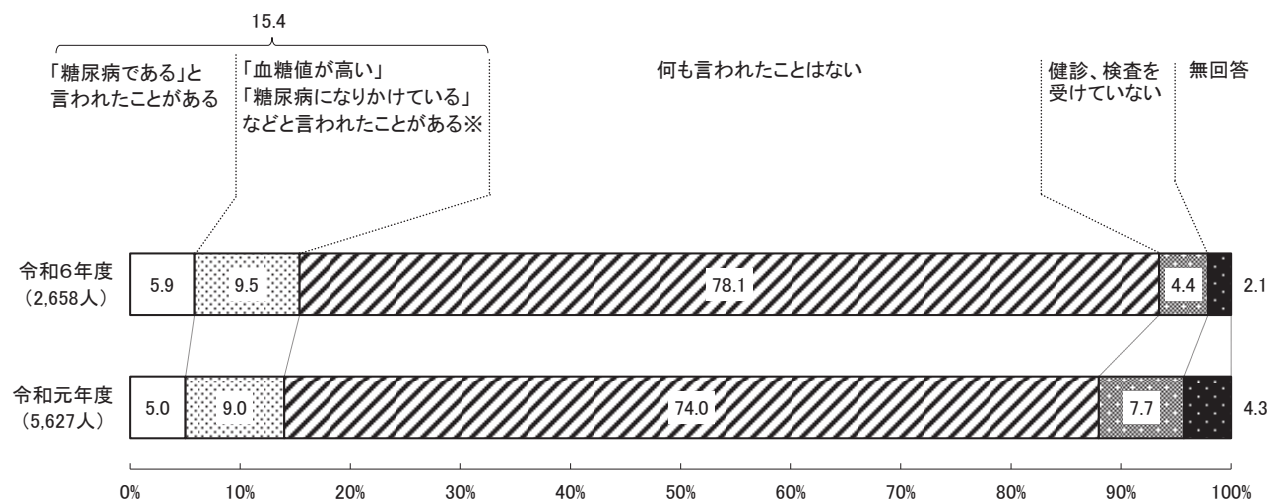
	総 数	の過絶作糖 糖の食や的細 尿作運に胞は 病の不動足が の多不り破き くはよなくさ 2りどなれ、 型発生のこ で症生こと あるす活と 2慣発の隣 型等症イの がにすイン あよるス 、イ型のリン 日と、リン 本ス、量 人リがを	人も肥 は太満 もとの つと人 てイは いイン糖 なく尿 り病に ても分 糖泌なり 尿能や 病力が にがい る低が 、危日欧 険本人米 性が・と アジベ アて	の気階糖 実を段尿 踐を利病 を付用を するな予 ること防 もとのす がに常は 大、生は 切ス、適 であ活、切 るレス夫な をに量と たよる質 めな運の い動食 な生習 活慣や 慣	を適関イン を持切運ス つなしス こ睡てリン と眠いの がをのと働 大と切りき 切考で、え り考あ趣ら る味れく るをるす をたる要 しめむ、因 な夜と ど更し 、かて 心し、 にをス ゆ控ト とえレ りて	い ず れ も 知 ら な い	無 回 答
総数	100.0 (2,658)	47.2	40.1	63.0	29.3	23.3	2.3
男	100.0 (1,384)	42.5	37.8	<u>60.7</u>	28.0	26.5	2.1
20～29歳	100.0 (80)	32.5	32.5	47.5	27.5	<u>40.0</u>	3.8
30～39歳	100.0 (152)	29.6	36.2	53.3	23.0	34.2	2.0
40～49歳	100.0 (213)	38.0	36.2	59.6	27.2	29.1	1.4
50～59歳	100.0 (310)	44.8	40.3	58.1	29.4	31.9	-
60～69歳	100.0 (256)	49.6	40.2	71.9	30.5	17.2	0.4
70～79歳	100.0 (233)	50.2	40.3	66.5	30.5	18.0	3.4
80歳以上	100.0 (140)	37.9	30.7	53.6	23.6	25.7	7.9
女	100.0 (1,272)	52.4	42.7	<u>65.6</u>	30.7	19.8	2.4
20～29歳	100.0 (103)	49.5	37.9	49.5	28.2	<u>30.1</u>	1.0
30～39歳	100.0 (148)	49.3	43.9	63.5	27.7	23.0	-
40～49歳	100.0 (182)	51.1	41.8	64.3	30.8	24.2	-
50～59歳	100.0 (258)	54.3	48.1	73.3	31.0	16.7	1.2
60～69歳	100.0 (195)	55.9	43.6	73.3	33.3	14.9	1.0
70～79歳	100.0 (225)	60.4	44.9	68.4	36.4	13.3	4.4
80歳以上	100.0 (161)	39.8	32.9	53.4	23.6	25.5	9.3

2 糖尿病り患状況

20歳以上の世帯員（2,658人）に、健診等の結果、糖尿病と言われたことがあるか聞いたところ、『糖尿病である』と言われたことがある」割合が5.9%、『血糖値が高い』『糖尿病になりかけている』などと言われたことがある」が9.5%となっており、これらを合わせた割合は15.4%となっている。一方で、「何も言われたことはない」の割合は78.1%となっている。

（図Ⅱ-7-2）

図Ⅱ-7-2 糖尿病り患状況



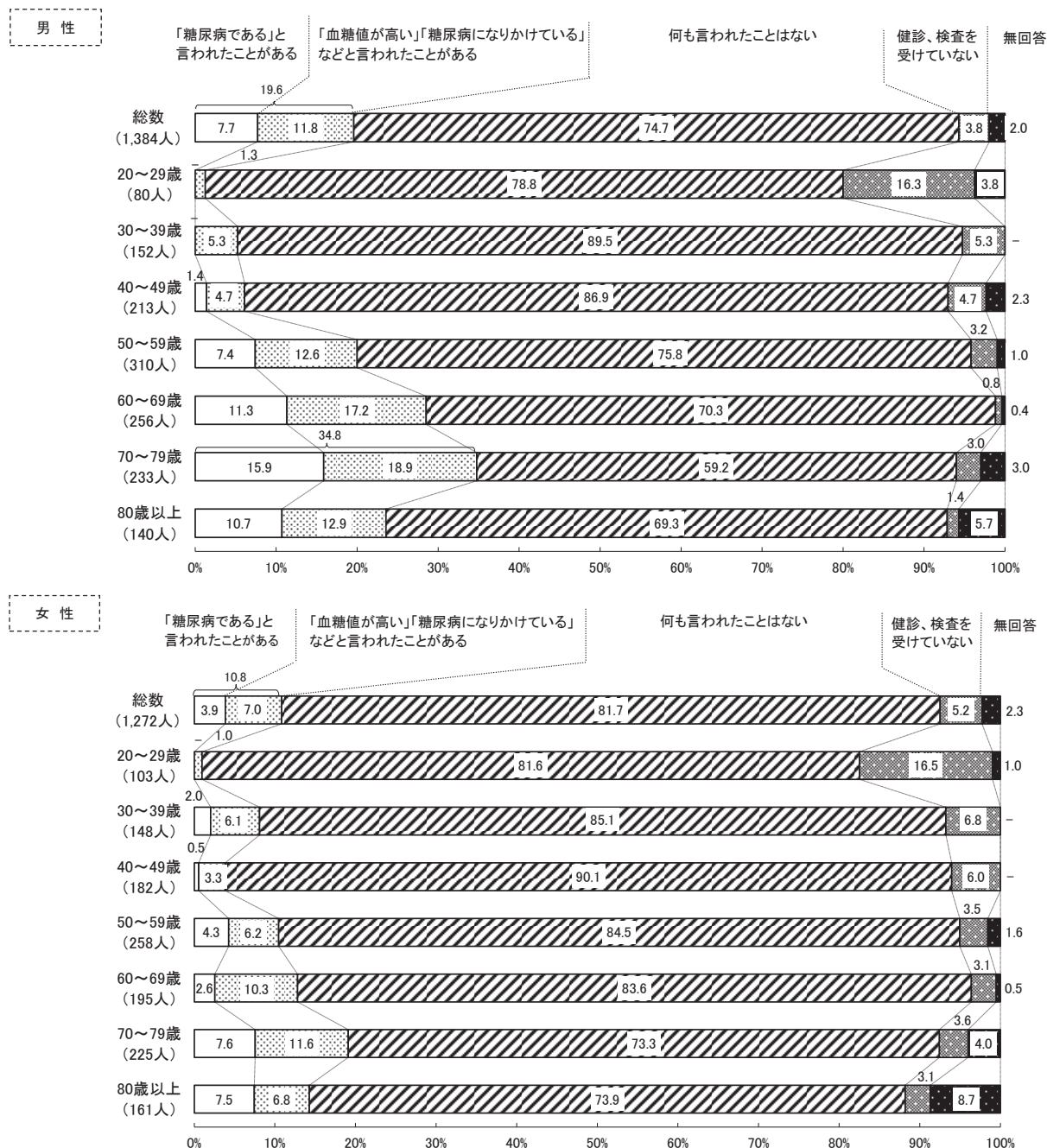
（注）※は、令和元年度調査では『血糖値が高い』『糖尿病の境界型』『糖尿病の気がある』『糖尿病になりかけている』などといわれたことがある」としていた。

(1) 糖尿病り患状況一性・年齢階級別

『「糖尿病である」と言われたことがある」と『「血糖値が高い」「糖尿病になりかけている」などと言われたことがある』を合わせた割合は、男性約2割、女性約1割

糖尿病り患状況を性・年齢階級別にみると、『「糖尿病である」と言われたことがある」と『「血糖値が高い」「糖尿病になりかけている」などと言われたことがある』を合わせた割合は、男性19.6%、女性10.8%となっている。70代の男性では、これらを合わせた割合が34.8%となっている。(図Ⅱ-7-3)

図Ⅱ-7-3 糖尿病り患状況一性・年齢階級別



3 糖尿病の治療の有無と治療内容[複数回答]

『「糖尿病である」と言われたことがある』又は『「血糖値が高い」』『「糖尿病になりかけている」』などと言われたことがある」と回答した人（409人）に、治療を受けたことがあるか聞いたところ、「現在、受けている」割合が43.8%、「以前に受けたことがあるが、現在受けていない」が24.0%となっている。一方で、「まったく受けたことがない」割合は29.3%となっている。

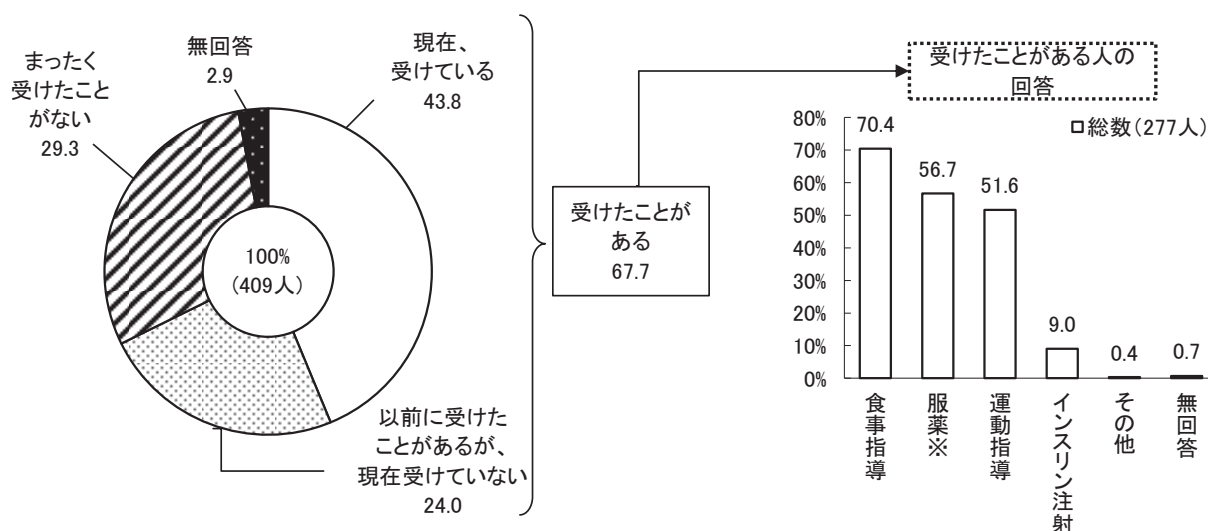
（図Ⅱ-7-4）

また、「現在、受けている」又は「以前に受けたことがあるが、現在受けていない」と回答した人（277人）に治療の内容を聞いたところ、「食事指導」の割合が70.4%、「服薬」が56.7%、「運動指導」が51.6%となっている。（図Ⅱ-7-5）

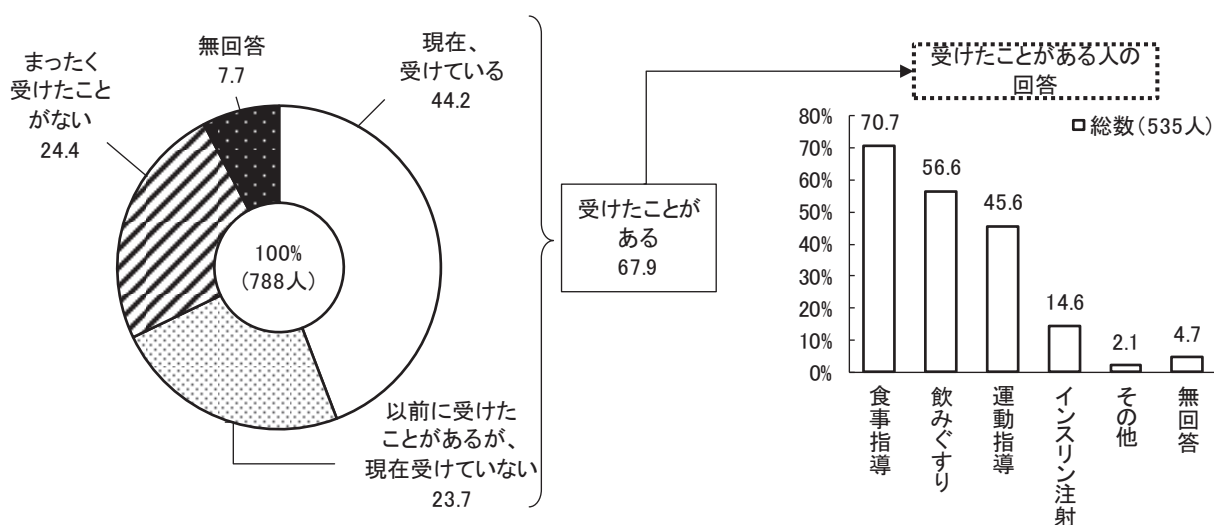
図Ⅱ-7-4 糖尿病の治療の有無

図Ⅱ-7-5 糖尿病の治療内容[複数回答]

令和6年度



令和元年度



（注）※は、令和元年度調査では「飲みぐすり」としていた。

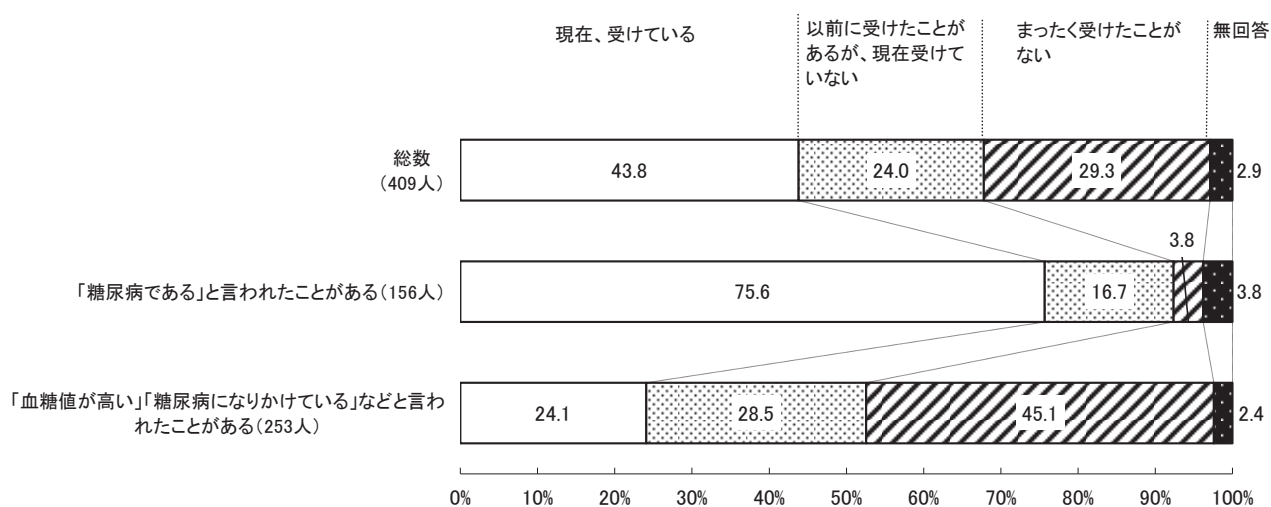
(1) 糖尿病の治療の有無－糖尿病り患状況別

『「糖尿病である」と言われたことがある」人では、糖尿病の治療を「現在、受けている」割合が7割を超えている

糖尿病の治療の有無を糖尿病り患状況別にみると、『「糖尿病である」と言われたことがある」人では、「現在、受けている」割合が75.6%となっている。

『「血糖値が高い」「糖尿病になりかけている」などと言われたことがある」人では、「まったく受けたことがない」割合が45.1%となっている。(図Ⅱ-7-6)

図Ⅱ-7-6 糖尿病の治療の有無－糖尿病り患状況別



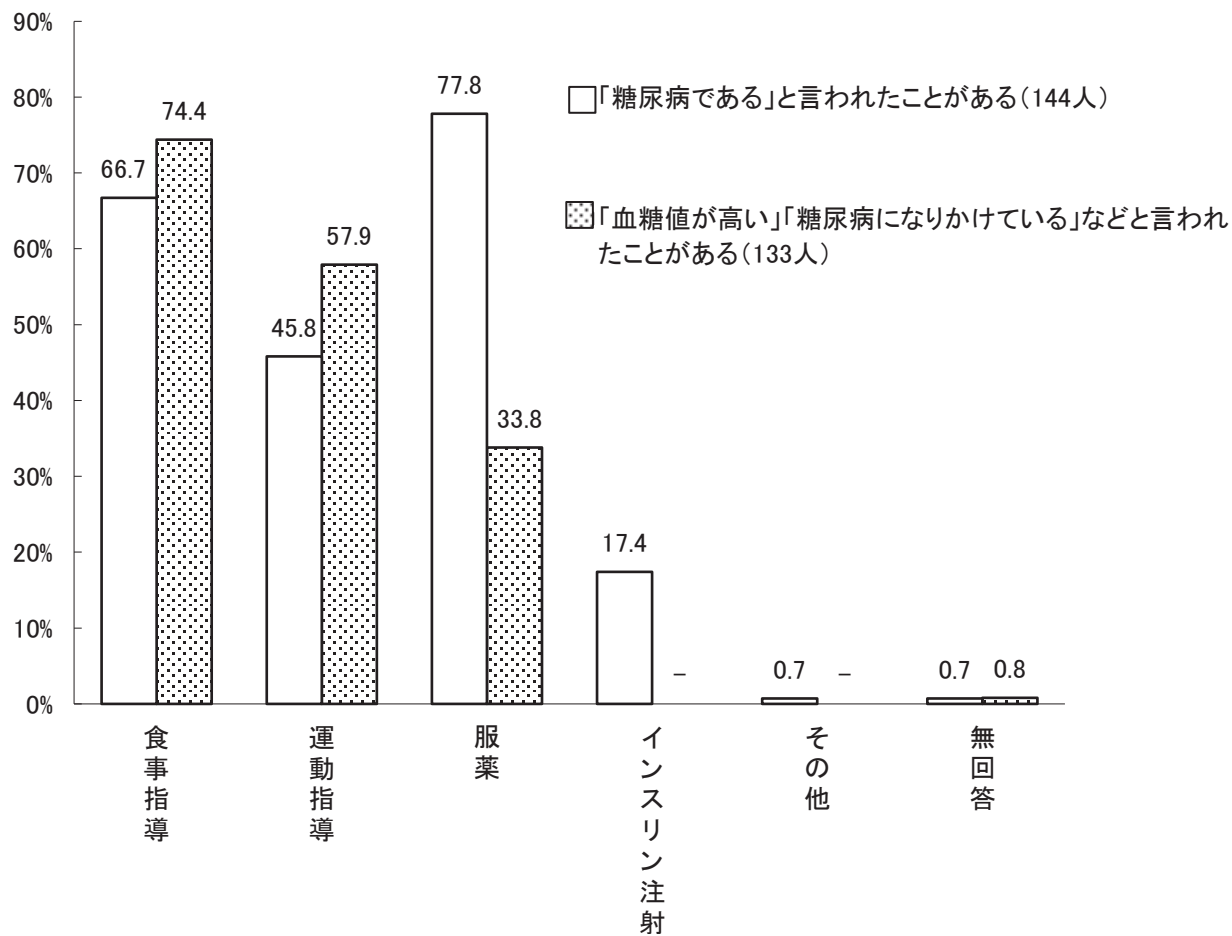
(2) 糖尿病の治療内容[複数回答]－糖尿病り患状況別

「『糖尿病である』と言われたことがある」人の治療内容は、「服薬」の割合が7割超

糖尿病の治療内容を糖尿病り患状況別にみると、「『糖尿病である』と言われたことがある」人では、「服薬」の割合が77.8%、「食事指導」が66.7%となっている。

「『血糖値が高い』『糖尿病になりかけている』などと言われたことがある」人では、「食事指導」の割合が74.4%となっている。(図Ⅱ-7-7)

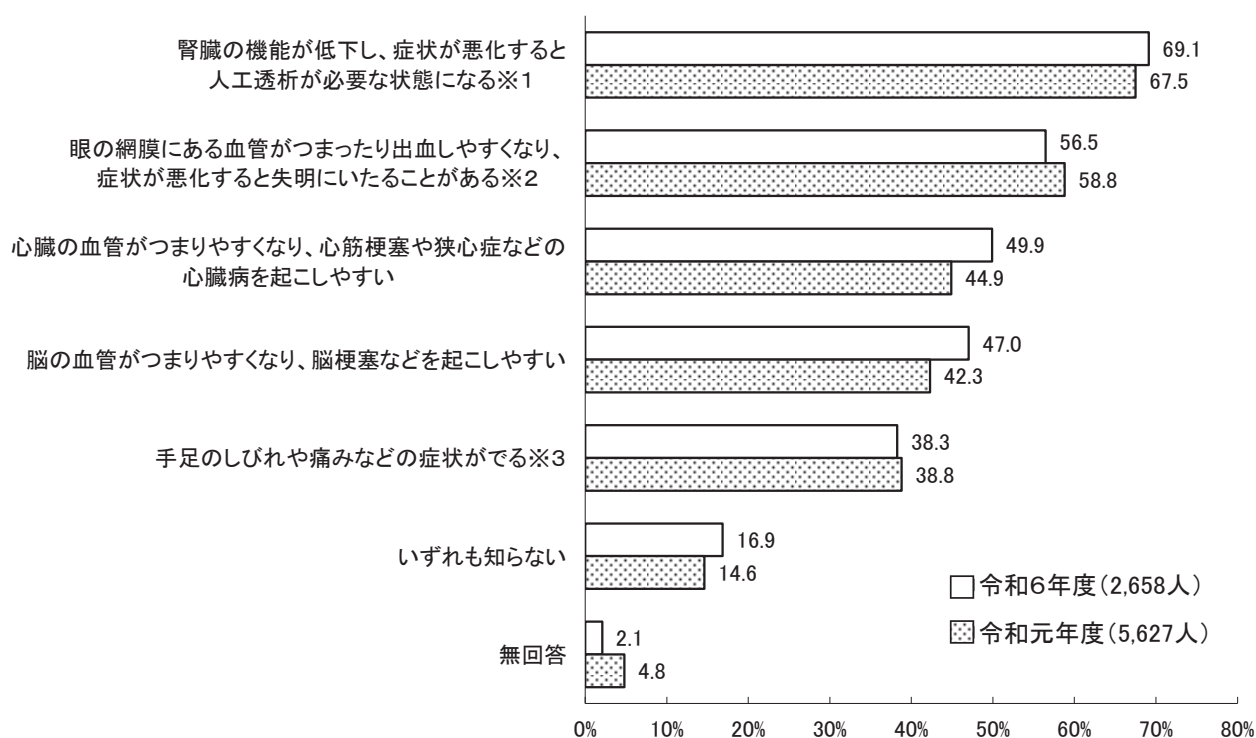
図Ⅱ-7-7 糖尿病の治療内容[複数回答]－糖尿病り患状況別



4 糖尿病の悪化で起こる状態の認知度[複数回答]

20歳以上の世帯員（2,658人）に、糖尿病が悪化することで、以下のような状態になることを知っているか聞いたところ、「腎臓の機能が低下し、症状が悪化すると人工透析が必要な状態になる」と回答した割合が69.1%で最も高く、次いで「眼の網膜にある血管がつまったり出血しやすくなり、症状が悪化すると失明にいたることがある」が56.5%となっている。（図Ⅱ-7-8）

図Ⅱ-7-8 糖尿病の悪化で起こる状態の認知度[複数回答]



（注1）※1は、令和元年度調査では、「腎臓の機能が低下し、放置し症状が進むと人工透析が必要な状態になる」としていた。

（注2）※2は、令和元年度調査では、「眼の網膜にある血管がつまったり出血しやすくなり、放置し症状が進むと失明にいたることがある」としていた。

（注3）※3は、令和元年度調査では、「手足のしびれや痛み、感覚が鈍くなるなどの症状がでる」としていた。

(1) 糖尿病の悪化で起こる状態の認知度[複数回答]一性・年齢階級別

男女とも「腎臓の機能が低下し、症状が悪化すると人工透析が必要な状態になる」ことを知っている割合が最も高い

糖尿病の悪化で起こる状態の認知度を性別でみると、男女とも「腎臓の機能が低下し、症状が悪化すると人工透析が必要な状態になる」ことを知っている割合が最も高くなっている（男性 68.4%、女性 69.8%）。（表Ⅱ-7-2）

表Ⅱ-7-2 糖尿病の悪化で起こる状態の認知度[複数回答]一性・年齢階級別

	総数	と腎臓の機能が低下し、症状が悪化する 人工透析が必要な状態になる	手足のしびれや痛みなどの症状がでる	目の網膜にある血管が悪化すると失明 にいたり、症状がある	心臓の狭心症などの心臓病を起し、心筋 梗塞や狭心症などの心臓病を起し、心筋 すい	脳の血管がつまりやすくなり、脳梗塞 などを起しやすくなり、脳梗塞	いずれも知らない	無回答
総数	100.0 (2,658)	69.1	38.3	56.5	49.9	47.0	16.9	2.1
男	100.0 (1,384)	<u>68.4</u>	37.6	52.9	50.2	47.1	18.4	1.7
20～29歳	100.0 (80)	50.0	41.3	31.3	41.3	47.5	32.5	3.8
30～39歳	100.0 (152)	59.9	39.5	34.2	43.4	38.8	30.3	0.7
40～49歳	100.0 (213)	66.2	35.2	50.2	49.8	46.0	22.1	0.9
50～59歳	100.0 (310)	73.9	41.3	54.2	50.3	47.7	16.8	0.6
60～69歳	100.0 (256)	74.6	44.5	66.0	58.6	54.3	10.5	0.4
70～79歳	100.0 (233)	71.7	35.6	63.9	55.4	53.2	11.6	2.1
80歳以上	100.0 (140)	62.9	20.0	44.3	39.3	32.9	20.7	7.1
女	100.0 (1,272)	<u>69.8</u>	38.9	60.3	49.4	46.9	15.3	2.4
20～29歳	100.0 (103)	61.2	42.7	35.0	45.6	47.6	26.2	1.0
30～39歳	100.0 (148)	66.9	52.7	48.0	48.6	45.9	20.3	1.4
40～49歳	100.0 (182)	72.0	38.5	57.1	46.2	45.6	18.1	—
50～59歳	100.0 (258)	76.0	46.5	69.4	53.9	50.4	10.1	0.8
60～69歳	100.0 (195)	73.3	41.0	71.8	56.9	52.8	10.8	0.5
70～79歳	100.0 (225)	72.0	32.9	69.8	51.6	48.4	10.7	5.3
80歳以上	100.0 (161)	58.4	18.0	49.7	37.3	33.5	20.5	8.1

(2) 糖尿病の悪化で起こる状態の認知度[複数回答]－糖尿病り患状況別

「『糖尿病である』と言われたことがある」人では、いずれの項目も、知っている割合が6割超

糖尿病の悪化で起こる状態の認知度を糖尿病り患状況別にみると、「『糖尿病である』と言われたことがある」人では、「いずれも知らない」を除く全ての項目について、知っている割合が6割を超えている（63.5%～89.7%）。（表Ⅱ-7-3）

表Ⅱ-7-3 糖尿病の悪化で起こる状態の認知度[複数回答]－糖尿病り患状況別

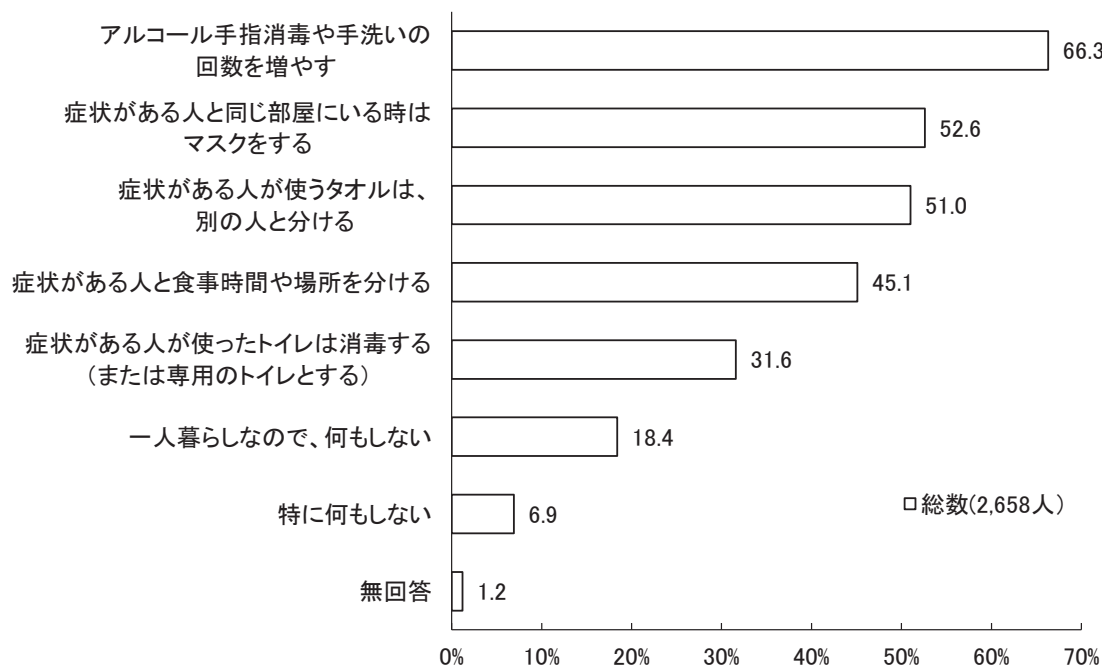
	総 数	と腎臓の機能が低下し、症状が悪化する	手足のしびれや痛みなどの症状がでる	目に網膜にある血管が悪化したり失明	目の網膜にある血管が悪化したり失明	心臓の狭心症などの心臓病を起し、心筋	脳血管がつまりやすくなり、脳梗塞	いずれも知らない	無 回 答
総数	100.0 (2,658)	69.1	38.3	56.5	49.9	47.0	16.9	2.1	
「糖尿病である」と言われたことがある	100.0 (156)	<u>85.9</u>	<u>63.5</u>	<u>89.7</u>	<u>72.4</u>	<u>69.2</u>	2.6	0.6	
「血糖値が高い」「糖尿病になりかけている」などと言われたことがある	100.0 (253)	80.2	49.4	67.6	68.4	62.5	6.3	—	
何も言われたことはない	100.0 (2,075)	69.4	36.8	55.4	48.3	45.8	17.7	0.8	
健診、検査を受けていない	100.0 (118)	42.4	20.3	27.1	25.4	19.5	44.9	1.7	

第8章 感染症対策の状況

1 家庭内の感染症対策[複数回答]

20 歳以上の世帯員（2,658 人）に、家庭内に発熱や咳、下痢など感染症かもしれない症状がある方がいる場合の家庭内の感染症対策を聞いたところ、「アルコール手指消毒や手洗いの回数を増やす」の割合が 66.3%で最も高く、次いで「症状がある人と同じ部屋にいる時はマスクをする」が 52.6%となっている。（図Ⅱ-8-1）

図Ⅱ-8-1 家庭内の感染症対策[複数回答]



(1) 家庭内の感染症対策[複数回答]一性・年齢階級別

男女ともに、家庭内の感染症対策として、「アルコール手指消毒や手洗いの回数を増やす」の割合は6割超

家庭内の感染症対策を性別でみると、「アルコール手指消毒や手洗いの回数を増やす」の割合は、男女ともに66.3%となっている。

性・年齢階級別にみると、「アルコール手指消毒や手洗いの回数を増やす」が、60代男性では72.7%となっている一方、20代男性では43.8%となっている。(表Ⅱ-8-1)

表Ⅱ-8-1 家庭内の感染症対策[複数回答]一性・年齢階級別

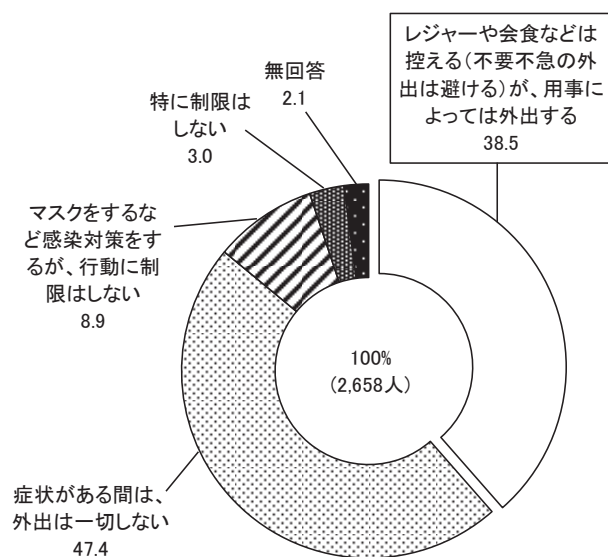
	総 数	ア ル コ ー ル 手 指 消 毒 や 手 洗 い の 回 数 を 増 や す	分 症 状 が あ る 人 と 食 事 時 間 や 場 所 を	は 症 状 が あ る 人 と 同 じ 部 屋 に い る 時	る 毒 す が あ る 人 が 使 つ た ト イ レ は 消	の 症 状 が あ る 人 が 使 う タ オ ル は 、 別	一 人 暮 ら し な の で 、 何 も し な い	特 に 何 も し な い	無 回 答
総数	100.0 (2,658)	66.3	45.1	52.6	31.6	51.0	18.4	6.9	1.2
男	100.0 (1,384)	<u>66.3</u>	43.6	49.6	28.0	48.6	15.0	8.8	1.4
20～29歳	100.0 (80)	<u>43.8</u>	41.3	41.3	21.3	31.3	35.0	6.3	3.8
30～39歳	100.0 (152)	55.9	40.1	41.4	21.7	42.1	23.0	8.6	1.3
40～49歳	100.0 (213)	67.6	43.7	52.1	27.7	44.6	14.6	7.5	0.5
50～59歳	100.0 (310)	69.4	49.0	54.2	29.4	51.6	14.2	7.4	0.3
60～69歳	100.0 (256)	<u>72.7</u>	49.2	53.5	29.7	51.6	10.9	9.4	0.4
70～79歳	100.0 (233)	70.8	39.9	50.2	33.5	54.5	11.6	9.0	2.1
80歳以上	100.0 (140)	62.9	32.1	40.7	24.3	49.3	10.0	14.3	4.3
女	100.0 (1,272)	<u>66.3</u>	46.9	56.0	35.6	53.7	22.1	4.7	1.1
20～29歳	100.0 (103)	53.4	40.8	44.7	20.4	37.9	31.1	6.8	1.0
30～39歳	100.0 (148)	70.9	49.3	59.5	35.1	50.0	19.6	2.0	0.7
40～49歳	100.0 (182)	68.7	48.4	57.7	36.3	53.8	19.8	3.3	-
50～59歳	100.0 (258)	71.7	59.3	66.7	43.8	62.4	19.8	2.3	-
60～69歳	100.0 (195)	71.8	46.7	60.0	43.6	60.5	21.0	4.1	0.5
70～79歳	100.0 (225)	64.0	45.3	52.9	36.9	57.3	24.4	4.9	1.8
80歳以上	100.0 (161)	55.3	29.8	40.4	20.5	39.8	23.0	11.8	4.3

2 感染症の症状がある場合の外出と外出先[複数回答]

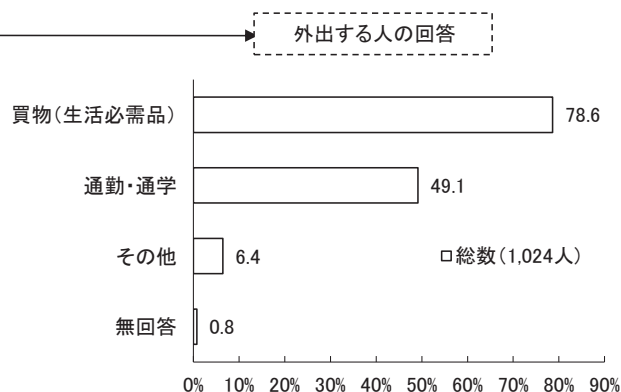
20 歳以上の世帯員（2,658 人）に、発熱や咳、下痢など感染症かもしれない症状がある場合、通勤・通学や買物、レジャーなどのために外出するか聞いたところ、「症状がある間は、外出は一切しない」の割合が 47.4%で最も高く、次いで「レジャーや会食などは控える（不要不急の外出は避ける）が、用事によっては外出する」が 38.5%となっている。（図Ⅱ-8-2）

「レジャーや会食などは控える（不要不急の外出は避ける）が、用事によっては外出する」人（1,024 人）に外出する用事を聞いたところ、「買物（生活必需品）」の割合が 78.6%、「通勤・通学」が 49.1%となっている。（図Ⅱ-8-3）

図Ⅱ-8-2 感染症の症状がある場合の外出



図Ⅱ-8-3 外出先[複数回答]



(1) 感染症の症状がある場合の外出一性・年齢階級別

感染症かもしれない症状がある場合、「症状がある間は、外出は一切しない」の割合は、男性4割超、女性5割超

感染症かもしれない症状がある場合の外出を性別でみると、「症状がある間は、外出は一切しない」の割合は、男性42.8%、女性52.4%となっている。

性・年齢階級別にみると、70代以上の女性では、「症状がある間は、外出は一切しない」が6割を超えている（64.6%～68.4%）。(表Ⅱ-8-2)

表Ⅱ-8-2 感染症の症状がある場合の外出一性・年齢階級別

	総数	い 症 状 が あ る 間 は 、 外 出 は 一 切 し な い	に 要 レ ジ ン に よ つ て は 外 出 は 食 事 を 避 け る は 控 え る （ 事 不 可 避 性 ）	が マ ス ク を し る な ど 感 染 対 策 を す る	特 に 制 限 は し な い	無 回 答
総数	100.0 (2,658)	47.4	38.5	8.9	3.0	2.1
男	100.0 (1,384)	<u>42.8</u>	39.7	10.8	4.6	2.0
20～29歳	100.0 (80)	26.3	50.0	12.5	7.5	3.8
30～39歳	100.0 (152)	30.9	50.0	13.8	5.3	—
40～49歳	100.0 (213)	32.9	48.8	12.2	5.6	0.5
50～59歳	100.0 (310)	38.4	46.1	9.0	4.5	1.9
60～69歳	100.0 (256)	50.4	37.5	10.2	1.6	0.4
70～79歳	100.0 (233)	57.1	27.9	9.9	3.0	2.1
80歳以上	100.0 (140)	52.9	18.6	11.4	8.6	8.6
女	100.0 (1,272)	<u>52.4</u>	37.2	6.8	1.4	2.3
20～29歳	100.0 (103)	38.8	47.6	9.7	2.9	1.0
30～39歳	100.0 (148)	38.5	52.7	6.1	2.7	—
40～49歳	100.0 (182)	35.7	52.7	9.9	1.6	—
50～59歳	100.0 (258)	50.4	44.6	4.3	0.4	0.4
60～69歳	100.0 (195)	59.5	32.8	6.7	—	1.0
70～79歳	100.0 (225)	<u>68.4</u>	21.8	5.8	0.9	3.1
80歳以上	100.0 (161)	<u>64.6</u>	13.7	7.5	3.1	11.2

(2) 感染症の症状がある場合の外出先[複数回答]一性・年齢階級別

感染症かもしれない症状がある場合の外出先は、「買物（生活必需品）」の割合が、男性7割超、女性8割超

感染症かもしれない症状がある場合の外出先を性別にみると、「買物（生活必需品）」の割合は男性74.2%、女性83.7%となっている。

性・年齢別にみると、「買物（生活必需品）」は、男性では50代が67.8%、60代が67.7%となっており、総数（78.6%）よりも低くなっている。（表Ⅱ-8-3）

表Ⅱ-8-3 感染症の症状がある場合の外出先[複数回答]一性・年齢階級別

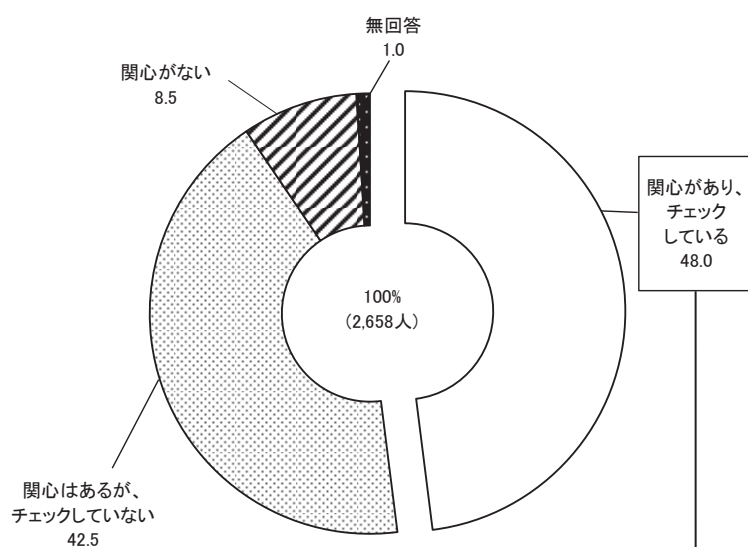
	総数	通勤・通学	買物（生活必需品）	その他	無回答
総数	100.0 (1,024)	49.1	<u>78.6</u>	6.4	0.8
男	100.0 (550)	57.3	<u>74.2</u>	5.5	0.4
20～29歳	100.0 (40)	65.0	82.5	—	—
30～39歳	100.0 (76)	63.2	78.9	6.6	—
40～49歳	100.0 (104)	70.2	80.8	1.9	—
50～59歳	100.0 (143)	65.7	<u>67.8</u>	2.8	0.7
60～69歳	100.0 (96)	55.2	<u>67.7</u>	5.2	—
70～79歳	100.0 (65)	29.2	70.8	13.8	—
80歳以上	100.0 (26)	7.7	88.5	19.2	3.8
女	100.0 (473)	39.5	<u>83.7</u>	7.6	1.3
20～29歳	100.0 (49)	73.5	81.6	4.1	—
30～39歳	100.0 (78)	50.0	87.2	6.4	1.3
40～49歳	100.0 (96)	50.0	80.2	8.3	—
50～59歳	100.0 (115)	42.6	83.5	5.2	1.7
60～69歳	100.0 (64)	17.2	85.9	9.4	1.6
70～79歳	100.0 (49)	8.2	85.7	10.2	2.0
80歳以上	100.0 (22)	—	81.8	18.2	4.5

3 感染症情報への関心とチェックしている情報源[複数回答]

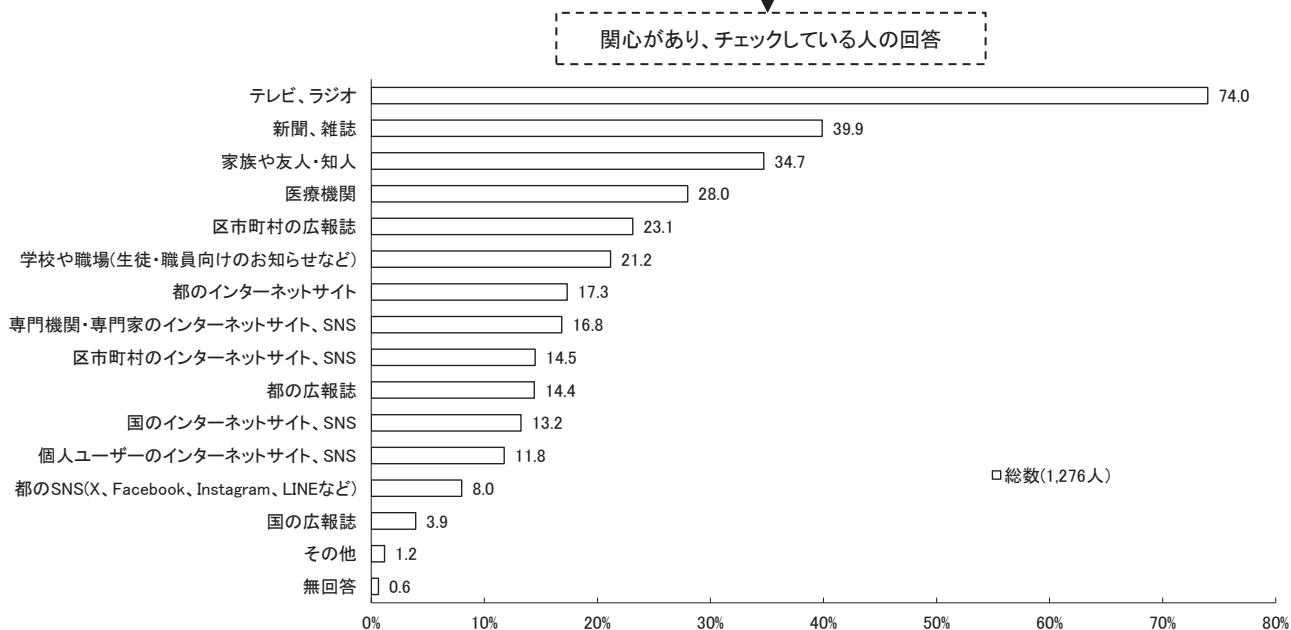
20歳以上の世帯員（2,658人）に、感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）など）の情報に関心があり、チェックしているか聞いたところ、「関心があり、チェックしている」の割合が48.0%で最も高く、次いで「関心はあるが、チェックしていない」が42.5%となっている。（図Ⅱ-8-4）

「関心があり、チェックしている」人（1,276人）にチェックしている情報源を聞いたところ、「テレビ、ラジオ」の割合が74.0%、「新聞、雑誌」が39.9%となっている。（図Ⅱ-8-5）

図Ⅱ-8-4 感染症情報への関心



図Ⅱ-8-5 チェックしている情報源[複数回答]



(1) 感染症情報への関心－性・年齢階級別

感染症情報への関心は、「関心があり、チェックしている」男性は4割超、女性は5割超

感染症情報への関心を性別にみると、「関心があり、チェックしている」、「関心はあるが、チェックしていない」の割合が、男性ではともに44.1%、女性ではそれぞれ52.3%、40.7%となっている。

性・年齢階級別にみると、「関心があり、チェックしている」は、70代では、男性57.9%、女性61.8%となっている一方、20代では、男性28.8%、女性24.3%となっている。(表Ⅱ-8-4)

表Ⅱ-8-4 感染症情報への関心－性・年齢階級別

	総 数	関 心 が あ り 、 チ ェ ッ ク し て い る	な 関 心 は あ る が 、 チ ェ ッ ク し て い ない	関 心 が な い	無 回 答
総数	100.0 (2,658)	48.0	42.5	8.5	1.0
男	100.0 (1,384)	<u>44.1</u>	<u>44.1</u>	10.9	0.9
20～29歳	100.0 (80)	<u>28.8</u>	41.3	26.3	3.8
30～39歳	100.0 (152)	32.9	49.3	17.8	—
40～49歳	100.0 (213)	38.0	46.0	15.0	0.9
50～59歳	100.0 (310)	40.0	50.0	10.0	—
60～69歳	100.0 (256)	47.7	44.9	7.4	—
70～79歳	100.0 (233)	<u>57.9</u>	37.3	3.9	0.9
80歳以上	100.0 (140)	53.6	34.3	8.6	3.6
女	100.0 (1,272)	<u>52.3</u>	<u>40.7</u>	5.9	1.1
20～29歳	100.0 (103)	<u>24.3</u>	55.3	19.4	1.0
30～39歳	100.0 (148)	42.6	50.7	6.8	—
40～49歳	100.0 (182)	50.0	42.3	7.7	—
50～59歳	100.0 (258)	58.1	38.4	3.5	—
60～69歳	100.0 (195)	61.0	35.9	2.1	1.0
70～79歳	100.0 (225)	<u>61.8</u>	35.1	1.8	1.3
80歳以上	100.0 (161)	48.4	37.9	8.7	5.0

(2) チェックしている感染症情報源[複数回答]—性・年齢階級別

男女ともに、チェックしている感染症情報源は、「テレビ、ラジオ」の割合が高い

チェックしている感染症情報源を性別にみると、「テレビ、ラジオ」の割合は男性 71.8%、女性 76.1%となっている。

性・年齢別にみると、「テレビ、ラジオ」の割合は、80 歳以上の男性で 80.0%、60 代以上の女性で 8 割超（83.2%～89.7%）となっている一方、20 代男性では 47.8%となっている。

(表Ⅱ-8-5)

表Ⅱ-8-5 チェックしている感染症情報源[複数回答]—性・年齢階級別

	総数	都のインターネットサイト	都の SNS (X、Facebook、LINE など)	都の広報紙	区市町村のインターネットサイト、SNS	区市町村の広報紙	国のインターネットサイト、SNS	国の広報紙	専門機関・専門家のインターネットサイト	個人ユーザーのインターネットサイト、SNS	医療機関	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	学校や職場(生徒・職員向けのお知らせなど)	家族や友人・知人	その他	無回答
総数	100.0 (1,276)	17.3	8.0	14.4	14.5	23.1	13.2	3.9	16.8	11.8	28.0	74.0	39.9	21.2	34.7	1.2	0.6
男	100.0 (610)	20.3	7.5	14.3	15.2	22.0	14.6	3.3	17.4	11.5	26.1	71.8	44.4	17.0	26.9	1.1	0.5
20～29歳	100.0 (23)	30.4	17.4	8.7	21.7	4.3	30.4	4.3	34.8	26.1	26.1	47.8	21.7	30.4	30.4	-	-
30～39歳	100.0 (50)	32.0	18.0	6.0	20.0	6.0	26.0	-	40.0	22.0	18.0	56.0	14.0	28.0	26.0	-	-
40～49歳	100.0 (81)	24.7	11.1	6.2	13.6	8.6	18.5	1.2	22.2	13.6	14.8	66.7	43.2	28.4	27.2	2.5	-
50～59歳	100.0 (124)	24.2	9.7	2.4	18.5	7.3	11.3	2.4	17.7	12.9	21.8	66.9	34.7	22.6	21.0	-	-
60～69歳	100.0 (122)	20.5	4.9	13.9	16.4	21.3	18.0	3.3	18.0	7.4	27.0	77.9	45.1	18.0	23.0	0.8	-
70～79歳	100.0 (135)	12.6	3.7	25.9	10.4	41.5	8.1	5.9	11.1	8.9	34.1	79.3	57.0	7.4	30.4	1.5	1.5
80歳以上	100.0 (75)	12.0	1.3	29.3	13.3	42.7	9.3	4.0	1.3	6.7	34.7	80.0	65.3	-	36.0	2.7	1.3
女	100.0 (665)	14.6	8.4	14.6	13.7	24.1	11.9	4.5	16.2	12.0	29.8	76.1	35.8	25.0	42.0	1.2	0.8
20～29歳	100.0 (25)	24.0	12.0	-	16.0	8.0	12.0	-	24.0	40.0	20.0	64.0	8.0	48.0	40.0	-	-
30～39歳	100.0 (63)	22.2	23.8	4.8	19.0	6.3	17.5	1.6	25.4	19.0	31.7	58.7	9.5	31.7	28.6	1.6	-
40～49歳	100.0 (91)	22.0	13.2	2.2	16.5	12.1	19.8	1.1	26.4	23.1	31.9	60.4	16.5	51.6	28.6	1.1	-
50～59歳	100.0 (150)	19.3	11.3	8.7	22.0	9.3	16.7	3.3	31.3	13.3	26.7	72.0	24.0	32.0	40.0	1.3	0.7
60～69歳	100.0 (119)	8.4	5.0	12.6	6.7	28.6	10.1	5.9	5.9	10.9	27.7	83.2	33.6	16.0	44.5	2.5	1.7
70～79歳	100.0 (139)	10.8	0.7	28.8	10.1	43.2	5.8	7.9	2.2	2.2	35.3	87.1	57.6	12.2	50.4	-	-
80歳以上	100.0 (78)	3.8	2.6	30.8	6.4	44.9	2.6	6.4	6.4	1.3	28.2	89.7	75.6	3.8	53.8	1.3	2.6

第9章 結核

1 胸のレントゲン検査の受診の有無と受診しなかった理由〔複数回答〕

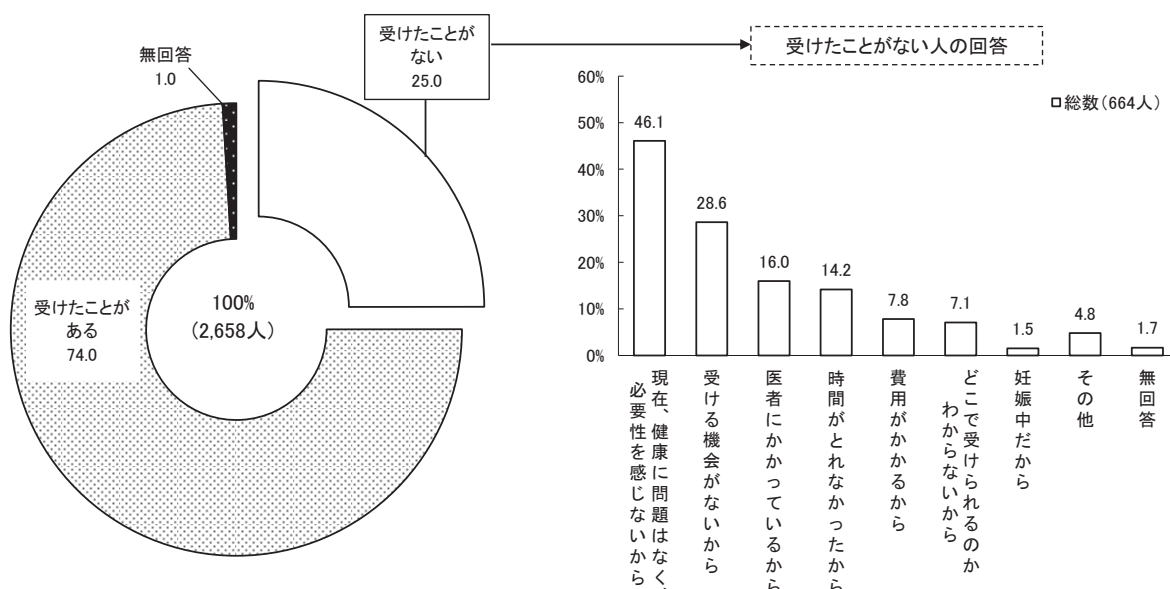
20歳以上の世帯員（2,658人）に、この1年以内に胸のレントゲン検査を受けたことがあるか聞いたところ、「受けたことがある」の割合が74.0%、「受けたことがない」が25.0%となっている。（図Ⅱ-9-1）

「受けたことがない」人（664人）に受診しなかった理由を聞いたところ、「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合が46.1%、「受ける機会がないから」が28.6%となっている。（図Ⅱ-9-2）

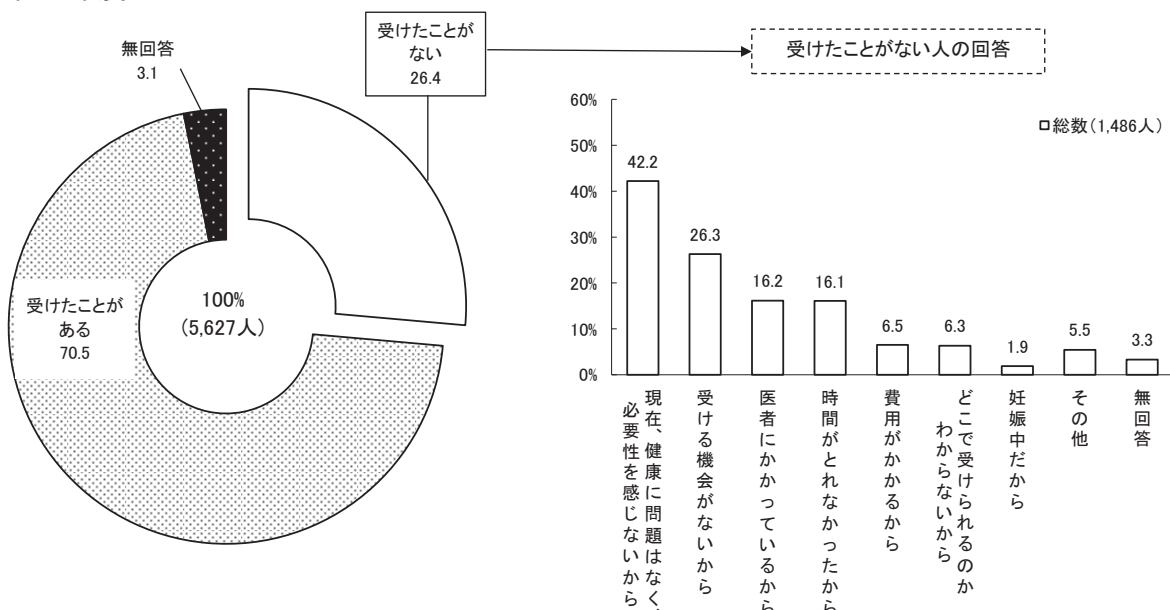
図Ⅱ-9-1 胸のレントゲン検査の受診の有無

図Ⅱ-9-2 胸のレントゲン検査を受診しなかった理由〔複数回答〕

令和6年度



令和元年度



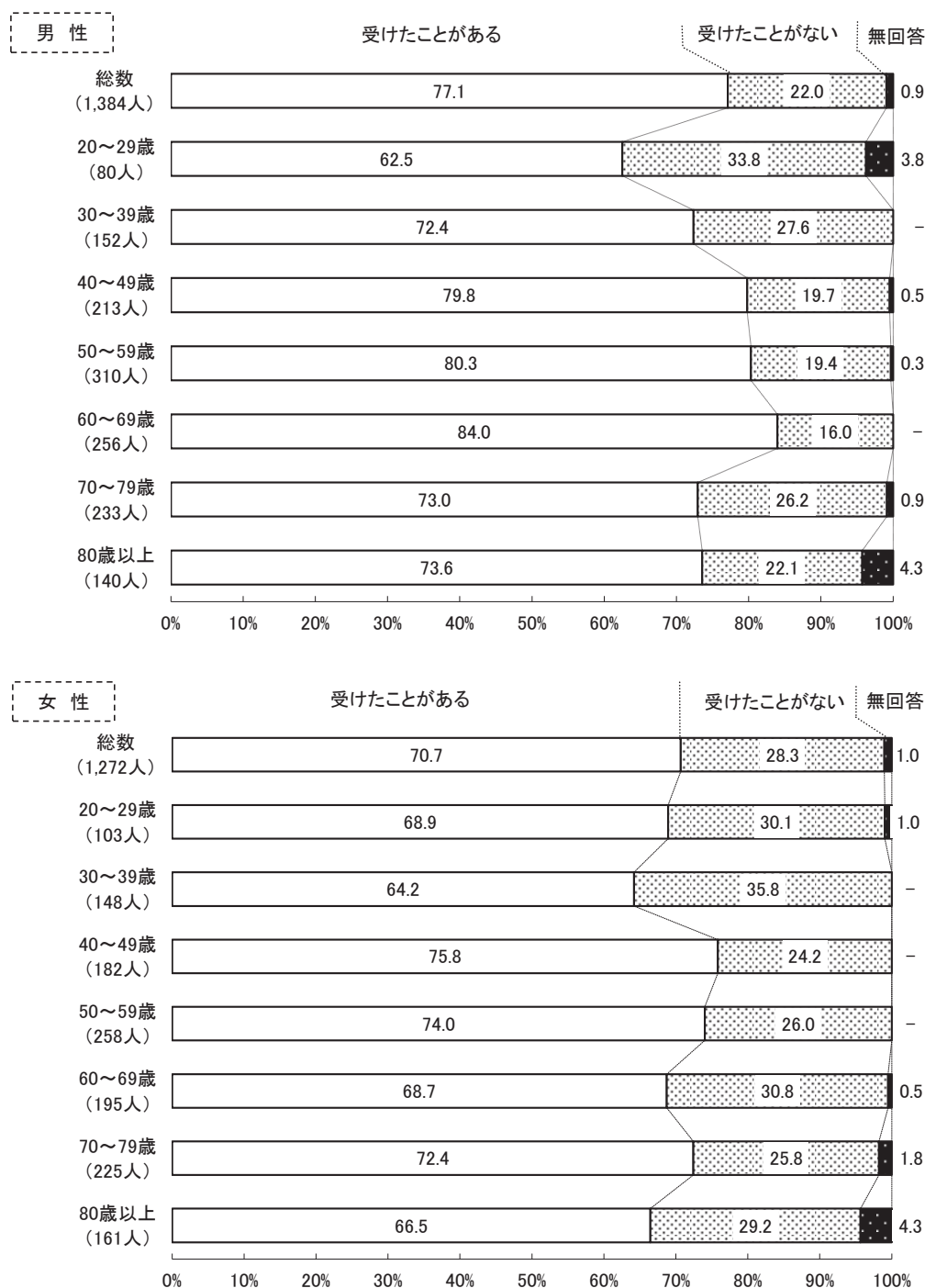
(1) 胸のレントゲン検査の受診の有無一性・年齢階級別

胸のレントゲン検査を受診したことがある割合は、男性7割超、女性約7割

胸のレントゲン検査の受診の有無を性・年齢階級別にみると、「受けたことがある」割合は、男性77.1%、女性70.7%となっている。

一方で、「受けたことがない」の割合は、20代男性で33.8%、30代女性で35.8%となっている。(図Ⅱ-9-3)

図Ⅱ-9-3 胸のレントゲン検査の受診の有無一性・年齢階級別



(2) 胸のレントゲン検査の受診の有無－就業状況別

主に仕事をしている人では、胸のレントゲン検査を受診したことがある割合が約8割

胸のレントゲン検査の受診の有無を就業状況別にみると、「受けたことがある」割合は、主に仕事をしている人で80.3%となっている。(表Ⅱ-9-1)

表Ⅱ-9-1 胸のレントゲン検査の受診の有無－就業状況別

	総 数	受 け た こ と が あ る	受 け た こ と が な い	無 回 答
総数	100.0 (2,658)	74.0	25.0	1.0
労働力人口	100.0 (1,786)	77.8	21.7	0.5
就業者	100.0 (1,760)	78.1	21.4	0.5
主に仕事をしている	100.0 (1,444)	80.3	19.3	0.4
主に家事で仕事もしている	100.0 (203)	69.5	30.5	－
主に学業で仕事もしている	100.0 (70)	70.0	28.6	1.4
その他	100.0 (43)	58.1	39.5	2.3
仕事を探していた	100.0 (26)	57.7	38.5	4
非労働力人口	100.0 (726)	65.0	34.0	1.0
家事・育児・介護	100.0 (143)	59.4	40.6	－
学業のみ	100.0 (25)	44.0	56.0	－
働いていない	100.0 (558)	67.4	31.4	1.3

(3) 胸のレントゲン検査を受診しなかった理由[複数回答]—性・年齢階級別

胸のレントゲン検査を受診しなかった理由は、男女とも「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合が4割超

胸のレントゲン検査を受診しなかった理由を性・年齢階級別にみると、男女とも「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合が4割を超えている(男性49.0%、女性43.6%)。

また、「受ける機会がないから」の割合は、20代女性で58.1%となっている。(表Ⅱ-9-2)

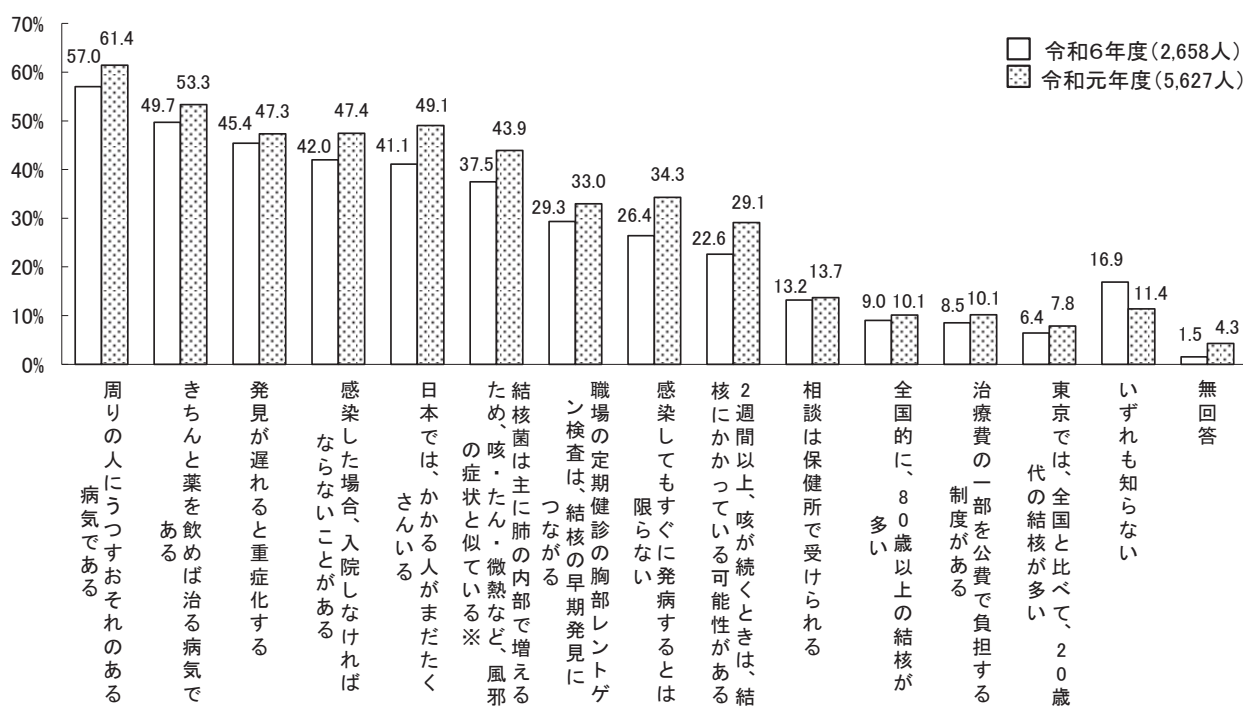
表Ⅱ-9-2 胸のレントゲン検査を受診しなかった理由[複数回答]—性・年齢階級別

	総数	現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから	どこで受けるかわからないから	受ける機会がないから	時間がとれなかったから	医者にかかっているから	妊娠中だから	費用がかかるから	その他	無回答
総数	100.0 (664)	46.1	7.1	28.6	14.2	16.0	1.5	7.8	4.8	1.7
男	100.0 (304)	49.0	8.2	27.0	17.1	14.1	—	8.9	5.3	1.3
20～29歳	100.0 (27)	55.6	18.5	48.1	11.1	—	—	14.8	—	—
30～39歳	100.0 (42)	47.6	7.1	31.0	23.8	—	—	11.9	4.8	4.8
40～49歳	100.0 (42)	47.6	16.7	23.8	33.3	2.4	—	14.3	4.8	—
50～59歳	100.0 (60)	40.0	8.3	36.7	20.0	8.3	—	6.7	5.0	—
60～69歳	100.0 (41)	43.9	2.4	22.0	9.8	26.8	—	9.8	7.3	—
70～79歳	100.0 (61)	49.2	1.6	9.8	14.8	29.5	—	6.6	8.2	1.6
80歳以上	100.0 (31)	71.0	9.7	29.0	—	25.8	—	—	3.2	3.2
女	100.0 (360)	43.6	6.1	30.0	11.7	17.5	2.8	6.9	4.4	1.9
20～29歳	100.0 (31)	61.3	16.1	58.1	6.5	—	—	6.5	3.2	—
30～39歳	100.0 (53)	41.5	9.4	41.5	5.7	—	18.9	11.3	3.8	—
40～49歳	100.0 (44)	31.8	15.9	47.7	9.1	2.3	—	9.1	9.1	—
50～59歳	100.0 (67)	46.3	4.5	28.4	19.4	10.4	—	7.5	6.0	1.5
60～69歳	100.0 (60)	48.3	—	20.0	18.3	23.3	—	8.3	3.3	—
70～79歳	100.0 (58)	50.0	—	12.1	10.3	31.0	—	3.4	—	5.2
80歳以上	100.0 (47)	27.7	4.3	19.1	6.4	48.9	—	2.1	6.4	6.4

2 結核に関する知識の認知度[複数回答]

20歳以上の世帯員（2,658人）に、結核について、以下のようなことを知っているか聞いたところ、「周りの人にうつすおそれのある病気である」と回答した割合が57.0%と最も高く、次いで「きちんと薬を飲めば治る病気である」が49.7%、「発見が遅れると重症化する」が45.4%となっている。（図Ⅱ-9-4）

図Ⅱ-9-4 結核に関する知識の認知度[複数回答]



（注）※は、令和元年度調査では「結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳・たん・微熱など、風邪の症状と似ている」としていた。

(1) 結核に関する知識の認知度[複数回答]一性・年齢階級別

男女とも「周りの人にうつすおそれのある病気である」ことを知っている割合が最も高い

結核に関する知識の認知度を性・年齢階級別にみると、男女とも「周りの人にうつすおそれのある病気である」ことを知っている割合が最も高くなっている(男性 51.6%、女性 62.9%)。

一方で、「いずれも知らない」の割合は、20代～30代の男性及び20代の女性では3割を超えている(31.3%～39.5%)。(表Ⅱ-9-3)

表Ⅱ-9-3 結核に関する知識の認知度[複数回答]一性・年齢階級別

	総 数	日 本 で は 、 か か る 人 が ま だ た く さ ん い る	限 ら な い	感 染 し て も す ぐ に 発 病 す る と は	き ち ん と 薬 を 飲 め ば 治 る 病 気 で あ る	発 見 が 遅 れ る と 重 症 化 す る	周 り の 人 に う つ す お そ れ の あ る 病 気 で あ る	咳 ・ た ん ・ 微 熱 な ど 症 状 は 風 邪 と 似 て い る	結 核 菌 は 肺 の 中 で 増 え る こ と が 多 く 、	2 週 間 以 上 、 咳 が 続 く と き は 、 結 核 に か か つ て い る 可 能 性 が あ る	東 京 で は 、 全 国 と 比 べ て 、 2 0 歳 代 の 結 核 が 多 い	全 国 的 に 、 8 0 歳 以 上 の 結 核 が 多 い	職 場 の 定 期 健 診 の 胸 部 レ ン ト ゲ ン の 検 査 は 、 結 核 の 早 期 発 見 に つ な が る	相 談 は 保 健 所 で 受 け ら れ る	治 療 費 の 一 部 を 公 費 で 負 担 す る 制 度 が あ る	感 染 し た 場 合 、 入 院 し な け れ ば な ら な い こ と が あ る	い ず れ も 知 ら な い	無 回 答
総数	100.0 (2,658)	41.1	26.4	49.7	45.4	57.0	37.5	22.6	6.4	9.0	29.3	13.2	8.5	42.0	16.9	1.5		
男	100.0 (1,384)	38.3	24.3	45.9	45.0	51.6	33.2	19.7	5.2	7.4	26.9	11.3	7.4	36.8	20.3	1.7		
20～29歳	100.0 (80)	17.5	20.0	31.3	33.8	31.3	18.8	12.5	2.5	7.5	12.5	3.8	3.8	18.8	31.3	3.8		
30～39歳	100.0 (152)	27.0	16.4	37.5	34.2	32.9	17.8	17.1	3.9	7.2	14.5	9.2	5.3	19.7	39.5	1.3		
40～49歳	100.0 (213)	31.9	15.5	39.0	46.5	45.5	20.2	19.7	2.3	4.2	16.9	5.2	5.6	27.2	24.9	1.4		
50～59歳	100.0 (310)	42.3	23.5	45.8	40.6	48.1	27.4	16.5	5.8	3.9	24.2	11.3	9.4	36.1	22.3	0.3		
60～69歳	100.0 (256)	42.6	27.7	52.7	51.6	61.3	40.2	24.2	5.5	9.0	36.3	12.5	9.0	46.5	13.7	0.4		
70～79歳	100.0 (233)	46.8	33.9	55.8	51.1	62.2	50.2	21.5	9.4	10.7	38.2	15.9	6.9	45.9	10.7	1.7		
80歳以上	100.0 (140)	41.4	27.9	45.0	48.6	65.0	50.0	22.9	3.6	12.1	33.6	17.1	7.9	49.3	10.0	7.1		
女	100.0 (1,272)	44.1	28.6	53.8	45.8	62.9	42.1	25.9	7.8	10.7	31.8	15.3	9.7	47.6	13.2	1.2		
20～29歳	100.0 (103)	28.2	14.6	35.9	27.2	38.8	21.4	17.5	3.9	7.8	17.5	6.8	9.7	30.1	34.0	1.9		
30～39歳	100.0 (148)	34.5	25.7	48.0	39.9	55.4	25.0	21.6	4.1	7.4	15.5	10.1	7.4	32.4	20.3	－		
40～49歳	100.0 (182)	39.6	25.3	46.7	49.5	60.4	28.6	24.7	7.7	10.4	21.4	13.7	12.1	42.9	18.1	0.5		
50～59歳	100.0 (258)	48.4	29.5	55.8	46.5	63.6	42.6	31.0	9.3	9.7	31.0	15.1	11.2	51.6	8.5	－		
60～69歳	100.0 (195)	49.7	30.3	57.9	50.3	67.2	51.3	31.3	8.7	12.8	42.1	11.3	8.2	53.8	7.7	－		
70～79歳	100.0 (225)	51.6	36.0	66.2	53.8	75.1	59.1	25.3	11.1	12.0	47.1	22.7	10.7	56.4	6.2	1.8		
80歳以上	100.0 (161)	44.1	30.4	52.8	41.6	64.6	50.3	22.4	5.6	13.0	35.4	22.4	6.8	51.6	11.8	5.0		

(2) 結核に関する知識の認知度[複数回答]－胸のレントゲン検査の受診の有無別

レントゲン検査を受けたことがある人では、「周りの人にうつすおそれのある病気である」ことを知っている割合が約6割

結核に関する知識の認知度を胸のレントゲン検査の受診の有無別にみると、レントゲン検査を受けたことがある人では、「周りの人にうつすおそれのある病気である」ことを知っている割合が59.9%となっている。(表Ⅱ-9-4)

表Ⅱ-9-4 結核に関する知識の認知度[複数回答]－胸のレントゲン検査の受診の有無別

	総 数	日 本 で は、 か か る 人 が ま だ た く さ ん い る	感 染 し て も す ぐ に 発 病 す る と は 限 ら な い	き ち ん と 薬 を 飲 め ば 治 る 病 気 で あ る	発 見 が 遅 れ る と 重 症 化 す る	周 り の 人 に う つ す お そ れ の あ る 病 気 で あ る	結 核 菌 は 肺 の 中 で 増 え る こ と が 多 く、 咳 ・ た ん ・ 微 熱 な ど 症 状 は 風 邪 と 似 て い る	2 週 間 か か っ て い る 可 能 性 が あ る	東 京 で は、 全 国 と 比 べ て、 2 0 歳 代 の 結 核 が 多 い	全 国 的 に、 8 0 歳 以 上 の 結 核 が 多 い	職 場 の 定 期 健 診 の 胸 部 レ ン ト ゲ ン 検 査 は、 結 核 の 早 期 発 見 に つ な が る	相 談 は 保 健 所 で 受 け ら れ る	治 療 費 の 一 部 を 公 費 で 負 担 す る 制 度 が あ る	感 染 し た 場 合、 入 院 し な け れ ば な ら な い こ と が あ る	い ず れ も 知 ら な い	無 回 答
総数	100.0 (2,658)	41.1	26.4	49.7	45.4	57.0	37.5	22.6	6.4	9.0	29.3	13.2	8.5	42.0	16.9	1.5
受けたことがある	100.0 (1,968)	43.2	28.4	52.6	48.8	<u>59.9</u>	39.7	24.0	6.8	9.4	33.6	13.6	9.0	43.9	14.7	0.6
受けたことがない	100.0 (664)	36.0	21.4	42.5	37.0	50.3	31.9	19.3	5.6	8.1	17.0	12.2	7.4	37.7	23.8	1.1